

令和6年度（2024年度）第11回教育委員会（2月定例会）議事録

1 日時 令和7年（2025年）2月4日（火）
午前9時30分から午後0時15分まで

2 場所 教育委員会室（県庁行政棟新館7階）

3 出席者 教育長 白石 伸一
委員 木之内 均
委員 田口 浩継
委員 西山 忠彦
委員 三淵 浩
委員 園田 恭子

4 議事等

（1）議案

議案第1号 熊本県教育職員免許状再授与審査会規則の制定について
議案第2号 教職員の懲戒処分について
議案第3号 教職員の懲戒処分について
議案第4号 教職員の懲戒処分について

（2）報告

報告（1） 令和6年度（2024年度）熊本県学力・学習状況調査の結果
について
報告（2） 指導が不適切な教諭等に関する判定審議会の答申について

5 会議の概要

（1）開会（9:30）

教育長が開会を宣言した。

（2）会議の公開・非公開の決定

教育長の発議により、議案第2号から議案第4号、報告（2）は人事案件及び個人情報に関する案件等のため非公開とした。

（3）議事日程の決定

教育長の発議により、議案第1号及び報告（1）を公開で審議し、非公開で議案第2号から議案第4号及び報告（2）までを審議した。

（4）議事

○議案第1号 熊本県教育職員免許状再授与審査会規則の制定について
学校人事課長

学校人事課です。議案第1号「熊本県教育職員免許状再授与審査会規則の制定
について」御説明いたします。

2ページの1を御覧ください。これまで、児童生徒へ性暴力等を行ったこと
により教育職員免許状が失効等となった者であっても、一定期間が経過すれば、制
度上、本人から申請があれば再び免許を授与しなければならない仕組みとなってい
ました。

令和3年6月4日に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が公布され、児童生徒へ性暴力等を行ったことにより教員免許が失効等となった者へ再び教員免許を授与するに当たっては、あらかじめ、都道府県教育委員会の設置する都道府県教育職員免許状再授与審査会の意見を聴かなければならない旨が規定されました。

令和4年3月18日に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律施行規則」が公布され、審査会の組織及び運営に関し必要な事項については、教育委員会規則で定めることとされたため、今回関係規定を整備するものでございます。

資料4 ページを御覧ください。規則案の概要です。

具体的内容としましては、3に記載しております。

規則の趣旨、委員の定数（5人以内としております）、委員に対して守秘義務を課すこと、そして審査会の運営について等、教育職員免許状再授与審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものです。

施行日は令和7年4月1日からになります。

5ページには、規則の公布文を掲載しております。

以上、御審議の程よろしくお願いいたします。

教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

これは令和4年3月公布の法施行規則に伴う規則制定ということですか。

学校人事課長

法律の施行規則が令和4年3月に公布され、必要な事項を都道府県の規則で定めることになりましたので、今年の4月1日から施行する形で今準備を進めているところです。

教育長

よろしいですか。

では、この件については原案どおり可決してよろしいか。

（委員了承）

教育長

ありがとうございます。

○報告（1） 令和6年度（2024年度）熊本県学力・学習状況調査の結果について

義務教育課長

義務教育課です。報告（1）「令和6年度（2024年度）熊本県学力・学習状況調査の結果概要について」御報告いたします。

まず、「1 調査の概要」です。実施日は、昨年11月29日から12月9日、対象は、市町村立小学校3年生から6年生までと中学校1年生と2年生までです。教科に関する学力調査と学習習慣や授業改善に関する質問紙調査を実施しました。

次に、「2 教科に関する調査結果概要」を御覧ください。数値は、全国平均値を100として示しています。表の一番上の段が今年度の結果です。「正答率が全国平均以上だった教科」は、小学校3年から5年生の国語、小学校3年生から6年生の算数、中学1、2年生の国語、中学2年生の数学でした。その下のグラフには、令和3年度（2021年度）から令和6年度（2024年度）までの

経年変化を示しています。本調査は、民間に委託をして、令和元年度（2019年度）からスタートしましたが、令和元年度は、全国平均を上回った教科は、14教科中3教科でしたが、今年度は昨年度と同様に、10教科でした。なお、令和元年度（2019年度）の調査から、今回初めて、小学3年生の国語、中学2年生の数学が全国平均以上となりました。

これは、「誰一人取り残すことなく、学びを保障し、児童生徒を学びの主体とする授業」を目指して、学校を伴走型で支援するとともに、学校現場の先生方と児童生徒一人一人が頑張った成果と捉えております。

課題としては、中学校の英語があげられます。これまで、中学3年生の英検等の外部検定試験受験料の補助や英語教員を対象にした研修等を実施しているところです。しかし、依然として課題があることから、今後、課題の要因を明確化し、その改善に向けた取組の充実を図って参ります。

次のページを御覧ください。「3 質問紙調査の主な結果概要」です。ここで示しているのは、全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、県の重点指標としている質問調査の結果などを抜粋してまとめたものになります。左側に児童生徒、右側に教師の結果を示しています。

一番上、重点指標1の「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいますか」という質問では、「自分から取り組んでいる」と回答した児童生徒は、昨年度より小中学校ともに向上しています。「児童生徒が自分から取り組む学習活動を設定した」と回答した教師は、90%を超えており、児童生徒の意識と約20ポイントの差があります。

次に、重点指標2の「自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という質問では、「工夫して発表している」と回答した児童生徒は、昨年度と比べて小学校では同程度、中学校では向上しています。「工夫して発表する活動を設定した」と回答した教師は、約90%であり、児童生徒の意識と20ポイント以上の差があります。

重点指標3の「授業の内容はよく分かりますか」という質問では、「よく分かる」と回答した児童生徒の割合は、中学校の英語において向上しています。「個に応じた指導の充実が図られている」と回答した教師の割合は、小中学校ともに昨年度より向上しています。

最後に、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」という本県の教育行動指標に関する調査項目についてです。褒めてくれると感じている児童生徒の割合は高く、褒めるなどの取組を行っている教師の割合も高い状況となっています。「認め、ほめ、励まし、伸ばす」という教師の意識が浸透しており、児童生徒もそのことをしっかりと実感しているということが、この結果に表れていると思います。

なお、ここには示しておりませんが、家庭学習に関する質問項目の状況についてお伝えします。家庭学習に関して、「自分で計画を立てている」と回答している児童生徒は、小学校で57.4%、中学校で50.9%と昨年度より、小学校はほぼ同じ、中学校でやや向上しています。家庭学習の充実につきましては、各学校で活用できるように、家庭学習の充実を図るためのポイント等を示した参考資料や自主学習ノート例をHPに掲載しているところです。今後、各学校に家庭学習の状況に関するアンケートを実施する予定にしており、その結果については、改めて説明させていただく予定です。

今回の結果を受け、今後の取組としては、明後日開催します、県や市町村教育

委員会、小中学校の代表者等からなる学力向上推進本部にて、課題の改善に向けた取組や今後の方向性を協議し、手立てを講じて参ります。

また、各学校においては、学力の状況や質問紙の状況の結果が示された個人票をもとに、生徒一人一人の意欲を高められるような声かけ、アドバイスを丁寧に行っていきます。民間委託したメリットの一つですが、子ども達の学習状況に応じて、個別に復習する個人別復習プリントが提供されるとともに、今年度は、児童生徒も Web 上で問題を解いたり、個人票の詳細を確認できたりするようになりました。これらを活用しながら、児童生徒一人一人の課題克服に向けた取組を行って参ります。

本日報告させていただきました内容につきましては、本日報道にも情報を提供させていただきます予定です。

義務教育課からの報告は以上でございます。

教育長

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

西山委員

学力調査の結果で、中学校英語が低いということですが、これは地域別とか学校別の格差もあるのでしょうか、全体が下がっているということでしょうか。その辺りはいかがでしょうか。

義務教育課長

全体にも結果を載せておりますが、学校でもばらつきはあります。非常に高い学校もありますし、低い学校もあるのが現状です。今後、詳細に分析していきますが、例えば、スーパーティーチャーがいる小規模の学校が高いなど、教師の指導力の差もあるのが現状だと思っています。ただ、そこも踏まえた上で、全体の授業力をあげていく取組が必要と思っているところです。

西山委員

ぜひ、成果のあった学校の事例を、ロールモデルとして紹介していただけたらと思います。よろしくお願いします。

田口委員

資料の一番下、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」のところは、児童生徒と教師の意識がほぼ同じで、かなり高い数値で位置付けられていて、非常にいいなと思います。上の3項目は、どの項目も非常に重要な項目だと思います。児童生徒と先生方の意識の差について、先生は、必要性は理解していて実践し、努力をされているというのが右側の数値に表れていると思います。しかし、それがなかなか、児童生徒には伝わっていない、理解されていないという部分について、その原因と対策を御紹介いただければと思います。

義務教育課長

教師は、徐々に向上はしていますので、取組の成果は表れていると思っています。また、明後日の学力向上推進本部で、御意見を伺いたいと思っています。取り組んでいるが数値が上がらないというのは質の問題もあると思っています。教師は学習活動をやっているけれども、その学習活動が子供たちにとって、本当に自分たちでやっていると感じていないということですので、質の向上は必要だと思っています。

田口委員

よろしくお願いします。

三淵委員

去年も結果を見ましたが、全体的に良くなってきているという感じがしました。しかし、英語が低く、全国の順位ではどれくらいなのかなと思います。重点指標の「授業内容はよく分かりますか」のところでも、英語は良くなったと仰いましたが、もともとが低いので、やっぱり子供たちは分からないのかなと思います。その分からないところをもう少し掘り下げて、特に英語に関しては、子供たちの意見を聞けば、今後どうしたらいいのかなというところが少し分かるのではないかなという気がしています。

義務教育課長

実は私たちも今回の結果は驚いたところもあります。急遽、先週の金曜日に、教育事務所の指導主事と本課の指導主事をオンラインでつないで、各管内の英語の状況や課題を聞いたところです。今、御意見があったように、実際子供たちがどんなふう感じているか、「授業は分かる」は伸びていますが、まだ低い状況ですので、子供たちへの意見聴取も含めて、今後の対応を考えていきたいと思っております。

西山委員

先ほどスーパーティーチャーの話もあり、指導力の差もあると思いますが、何か仕掛けや道具とか、そういうものが見えてくると非常にいいなと思います。なぜ、この学校はいいのか、指導力の差と言ってしまうと終わってしまいますので、例えばツールや道具をこんなものを使っているとか、あるいは仕組として家庭学習との連携をこういうふうに行っているとか、好事例が見つかる就非常によいなと思いました。よろしくお願いします。

義務教育課長

本課でも英語授業づくりプロジェクトと言いまして、学校現場の英語教育のリーダーやスーパーティーチャー、優秀な教員等も集めながら、一緒に授業づくりもしております。指導力の差だけではなく、具体的な部分で検討していきたいと思っております。

西山委員

小学校では英語は教科に入っていますか。

義務教育課長

3、4年生が外国語活動、5、6年生が英語です。

西山委員

5、6年生が英語、3、4年生は外国語活動をやっているということですね。

5年生6年生の調査はないということですよ。

義務教育課長

小学校も教科化になっていますが、それ以前の令和元年度から、県学力・学習状況調査は行っています。小学校英語の調査の実施については予算がまだ取れていない状況です。

西山委員

前知事は、英語教育日本一を目指すことを掲げていましたので、調査していただくようよろしくお願いします。

木之内委員

関連して質問ですが、今の中学1年生は、小学校で英語の授業は取り組んでいたということですか。

義務教育課長

実施しています。

木之内委員

実施していて、これだけ下がっているということですね。

義務教育課長

全国も同じ状況であり、小学校の英語と中学校の英語の接続の部分も考えていかなければならないと思っております。

木之内委員

今の中学1年生から小学校でも実施しているということですね。

義務教育課長

そのとおりです。

教育長

令和3年度の中学2年英語の数値が95.3で、今年度は10ポイント近く落ちています。全国学力・学習状況調査でも中学校の英語は落ちているということだったかと思えます。そこについては、しっかり分析と対応を考えないといけないですね。

義務教育課長

英語に関しては、教育長も言われたとおり、全国学力・学習状況調査でも同じ結果が出ていますので、これまでの取組をもう1度見直して、今後、どのように取り組んでいくか考えていきたいと思っております。

教育長

今度の学力向上推進本部でも、そういった意見をいただきますか。

義務教育課長

英語も含めて御意見をいただこうと思っております。

教育長

よろしく申し上げます。

園田委員

学力は、先ほども触れておられましたが、地域差が結構あると思っております。実際、田舎の方の少人数の学校ほど学力が高かったりするようですが、学力だけを切り取ったもので、資料としては良いと思っておりますが、その側面だけでなく、例えば、体力と学力とを一緒に合わせた資料があると、今後の対策として、いいなと思っております。適度に運動することによって学力も上がると思っております。この学校は、体力でも周りの学校よりも高く、なぜか学力も高いなど、そういったデータも出てくると、運動と一緒に併せた対策もできると思っております。学力だけ切り取ると子供の将来が怖いというか、もっと豊かに育ててほしいという気持ちがありますので、併せて今後の対策としていくといいなと思っております。

義務教育課長

御意見ありがとうございます。体育保健課が調べておりますので、そのデータもいただきながら、相関関係も見ていきたいと思っております。

園田委員

この資料は県全部をとりまとめたものなので、地域別に出すとそれは問題となりますか。

義務教育課長

競争をあおることになると考えています。もちろん地域の差はありますが、管内の規模が小さいと、大規模校が上がると全体が上がるとか、そういう部分もありますので、一概に地域の差だけとは言えないところです。地域も10管内ありますが、地域差というよりも学校差をしっかりと見ていくべきだと思っております。

田口委員

先ほど相関関係の話をされましたが、重点指標1から3までは、学力との相関もみられるということでしょうか。

義務教育課長

みられます。

田口委員

大変いいデータですので、今後子供たちの力をつけるという観点で、この辺りを利用されるといいなと思いました。

義務教育課長

ちなみに教育プランの指標とも一致させています。特に自ら取り組む部分は、学力の高い都道府県では非常に高い数値をしていますので、私たちもその数値を大切にしながら、取組を進めたいと思っています。

教育長

この件については、これでよろしいでしょうか。

(委員了承)

教育長

ありがとうございます。

※ここで、非公開議案を審議するため、教育長が傍聴人等の退室を指示した。

教育長

ありがとうございます。

引き続きよろしく申し上げます。

6 次回開催日

教育長が、次回の定例教育委員会は令和7年（2025年）3月14日（金）教育委員会室で開催することを確認した。開催時間は、午後1時30分から。

7 閉会

教育長が閉会を宣言した。午後0時15分。